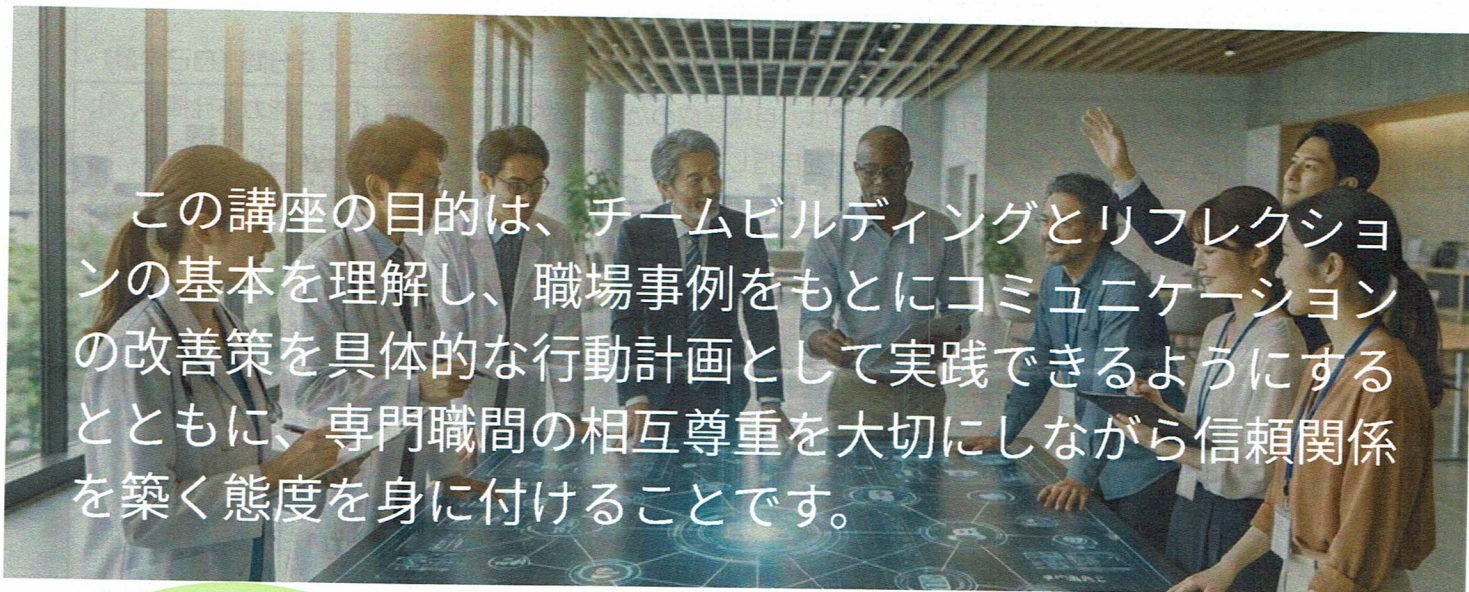


## 2026 年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」各講座の予定

個別講座名	チーム力を高める実践講座:現場で成果を出す コミュニケーション&リフレクション	募集人数	30名	開催方法	対面
申込期間	開講日時		受講料		
当初:~5月11日(月) 追加:~5月18日(月)	5月24日(日) 9:30~16:30		3,000円		
個別講座名	多職種を動かし、現場を変える「チームの舵取り」養 成講座~現場を動かし“納得”に変える実践ファシ リテーション~〈全2日間〉	募集人数	20名	開催方法	対面
申込期間	開講日時		受講料		
当初:~5月18日(月) 追加:~5月25日(月)	5月30日(土) 9:30~16:30 6月20日(土) 9:30~16:30 7月11日(土) 9:30~16:30		選択 必須	6,000円 (※3日間受講する場合は 9,000円となります)	
個別講座名	専門職連携の基盤『ヒューマンケア』を探究する ~分野も立場もこえて~	募集人数	20名	開催方法	対面
申込期間	開講日時		受講料		
当初:~5月18日(月) 追加:~5月25日(月)	6月6日(土) 9:30~15:00		3,000円		
個別講座名	IPWを促進する F-SOAP リーダー養成研修~ ミクロ・メソ・マクロレベルでの好循環とエコシ ステム~	募集人数	20名	開催方法	オンライン
申込期間	開講日時		受講料		
当初:~6月29日(月) 追加:~7月6日(月)	7月17日(金) 11:00~17:00 9月4日(金) 13:00~17:30 10月30日(金) 13:00~17:30		9,000円		
個別講座名	専門職連携で学ぶ事例検討~複雑化・複合化した支援 ニーズのある事例から考える本人中心の意思決定~	募集人数	20名	開催方法	対面
申込期間	開講日時		受講料		
当初:~8月28日(金) 追加:~9月4日(金)	9月13日(日) 9:30~16:30		3,000円		
個別講座名	専門職連携チームのアントレプレナーシップ 概論	募集人数	30名	開催方法	対面
申込期間	開講日時		受講料		
当初:~11月24日(火) 追加:~11月30日(月)	12月6日(日) 9:00~16:00		3,000円		

# チーム力を高める実践講座

～現場で成果を出すコミュニケーション&リフレクション～



この講座の目的は、チームビルディングとリフレクションの基本を理解し、職場事例をもとにコミュニケーションの改善策を具体的な行動計画として実践できるようにするとともに、専門職間の相互尊重を大切にしながら信頼関係を築く態度を身に付けることです。

この講座で高い臨床実践を身に付けませんか

埼玉県立大学において対面開催

専門職のもつ能力を発揮してみませんか

必要なコミュニケーション力を高めませんか



信頼構築・リフレクションの基本スキルを学びませんか

開催日：5月24日(日)  
9:30～16:30

受講対象：保健・医療・福祉・介護の現場スタッフ

定員：30名 / 受講料：3,000円

担当講師

井上和久<理学療法学科> 押野修司<作業療法学科>  
吉村基宜<看護学科> 原明子<看護学科> 阿部真純<看護学科>

お問合せ  
埼玉県立大学・専門職連携教育研修センター  
☎048-973-4114 ✉ipe-kenshu@spu.ac.jp

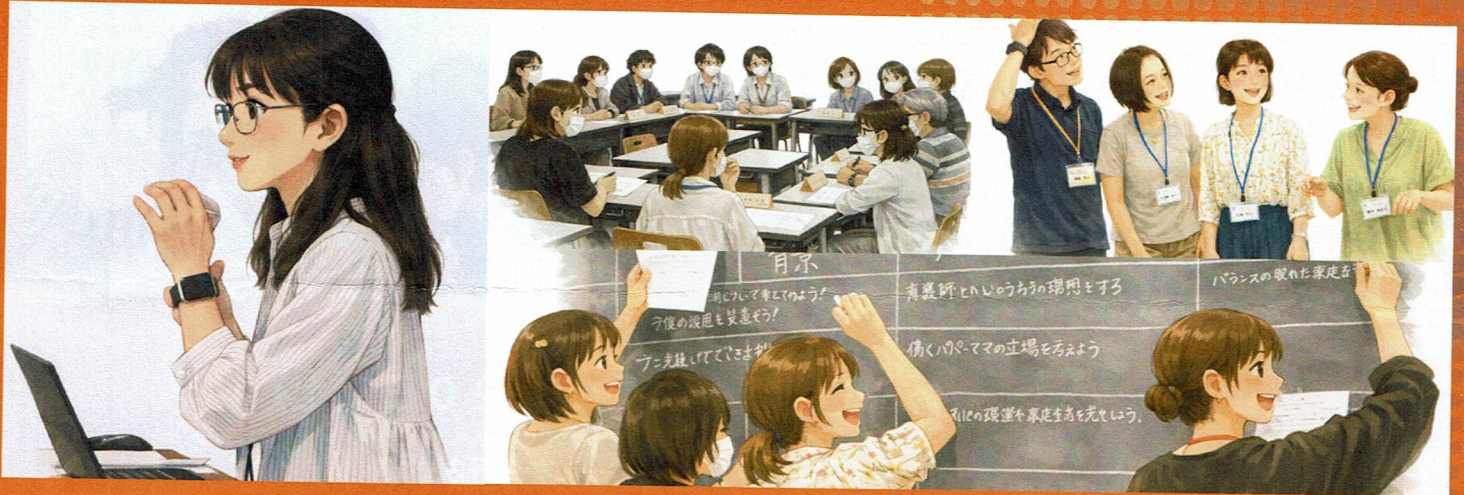
お申し込みは二次元コード  
からお願いします  
締切は5月11日(月)までです



# 多職種を動かし現場を変える

## 「チームの舵取り」養成講座（全2日受講）

### 一現場を動かし“納得”に変える実践ファシリテーション



**日程** 2026年

- ・【必須受講】7月11日（土）実践演習
- ・【選択受講】5月30日（土）または6月20日（土）※

※いずれか1日を選択して受講（合計2日間）  
今年度より、専門職の皆さまの負担軽減を考慮し、  
上記のように受講条件を設定しました。

**時間** 9:30-16:30

**場所** 対面；埼玉県立大学講義室

**料金** 6,000円※

**定員** 20名

※受講料が減額となる『勧誘奨励制度』を設けています。申し込まれた方の主たる職種と異なる職種の方をお誘いいただき申し込まれた場合に、誘い合わせた（誘った、誘われた）両受講者の受講料を1日につき1,000円減額する制度です。詳細は、募集要項をご確認ください。

今すぐ申込み



申込は二次元コードから  
締切は5月18日(月)まで

### セミナー概要

複雑化する多職種連携の現場では、単に「意見を聞く」だけでは前に進めません。本講座では、専門職が持つ多様な価値観を“対立”ではなく“知恵”に変えるための実践的ファシリテーション技術＝【チームの舵取り力】を、講義・演習・シミュレーションを通して体系的に学びます。

#### ●本講座のポイント

- ・【会議が報告会で終わってしまう課題を突破】
- ・【多職種の「正義の衝突」を知恵に変える】
- ・【沈黙・独演・脱線への介入スキルを習得】
- ・【Schwarzの相互学習モデルを実践的に学ぶ】
- ・【自分のファシリテーションスタイルを確立】

#### ●講師紹介



社会福祉子ども学科 小川孔美  
看護学科 國澤尚子  
元作業療法学科 柴田貴美子



埼玉県立大学  
専門職連携教育研修センター

☎048-973-4114

受付時間：平日9時から18時まで

✉ipe-kenshu@spu.ac.jp

専門職連携の基盤

# ヒューマンケア を探究する

～分野も立場もこえて～

本講座では保健医療福祉における「体験の専門家」の理念  
と連携の基盤となるヒューマンケアを探究します

2026年 6月 6日(土) 9:30～15:00

受講料3,000円(税込)

— 定員20名 —

連絡先・お問合せ



埼玉県立大学・専門職連携教育研修センター  
☎048-973-4114 ✉ipe-kenshu@spu.ac.jp

★締切日★

5月18日

まで

申込フォーム



# IPW を促進する F-SOAIP リーダー養成研修

～ミクロ・メソ・マクロレベルでの好循環とエコシステム～



## 日程(全3日間に要参加)

- ① 7/17:金 11:00~17:00  
事前学習・オリ:1時間分をオンデマンド
- ② 9/4:金 } 13:00~17:30
- ③ 10/30:金 }

●受講料 9,000 円(税込)

●定員 原則 20 名

概要・目標・事前準備・課題等はシラバスをご参照ください。

## F-SOAIP のシステム実装(2026 年 3 月末現在:予定を含む)

計8領域で 21 種/AI 等活用(要約・F-SOAIP 自動分類等:6 領域で 11 種)

- ケアマネジメント:5 種(要約・自動分類等:3) / 介護:5 種(認知症 BPSD の AI 等:2) / 地域包括ケア:1 種
- 自治体・福祉相談記録:3 種(対象別分類:1) ● 医療機関のカルテ:1 種
- 児童領域:3 種(遠隔によるスパービジョン等:2)
- 障がい領域:1 種(1) ● 領域共通2種(2)

F-SOAIP の最新情報は HP(<https://seikatsu.care/>)をご参照。

## F-SOAIP のリーダー養成研修としての開催は本研修のみ

事業所や法人・地域、自治体などを対象に、F-SOAIP の導入や研修を担い、IPW を促進できる人材養成を目的としています。

● 専門雑誌・新聞での掲載 ※執筆や監修した専門誌等: 32 誌/148 本・延べ 253 名 (2026 年 3 月末現在:予定を含む) 連載中『自治実務セミナー』『月刊ケアマネジメント』『病院新聞』/連載済『月刊先端教育』『Vision と戦略』『月刊新医療』『訪問リハビリテーション』『住民行政の窓』等/特集済『月刊 J-LIS』『ケアマネジャー』『エキスパートナース』『臨床栄養』『デンタルハイジーン』等

● 多領域の書籍を出版予定(2026 年度中):児童領域/障がい領域/介護支援専門員/医療機関等

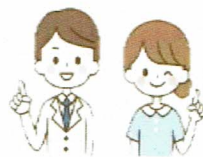
## 東京都立墨東病院 副院長・看護部長 上野真弓様:2024 年度以降、計 12 名受講

看護部長らが 2022 年度より国際医療福祉大学にて受講し全看護部へ F-SOAIP の導入を図る。2024 年度からは本学当研修に職員派遣を継続。GE ヘルスケアのコマンドセンターと、F-SOAIP を搭載した富士通 Japan の電子カルテを両輪として DX を推進。データ分析により多職種連携の促進が病院経営に資することを確認。東京都立病院間の管理者異動による F-SOAIP の普及にも期待。「自治実務セミナー」「月刊新医療」「看護」「エキスパートナース」等に寄稿し、研究発表により発信。



## 幸手東地域包括支援センター センター長:中田理絵 様 2023 年度以降、計 3 名受講

保健師など複数名が受講し活躍中である。2026 年度の IPW 実習に地域ケア会議を主催する立場から協力し、地域課題をテーマとした事例検討を予定。地域の医療系専門学校では、寄稿した「月刊ケアマネジメント」により F-SOAIP を紹介している。



受講者を  
リーダーとした職場の  
好循環を紹介

## 2025 年度受講者の活躍!!

- うるま市こども未来部子育て包括支援課:天願出 様  
書籍「F-SOAIP の理論と実際 子ども家庭福祉編」に寄稿。
- 大阪・大東市社会福祉協議会:村尾空見子 様/  
佐々木志奈 様 /堀越星香 様  
社会福祉協議会全体での F-SOAIP 導入成果を「月刊ケアマネジメント」2 回連載として発信。
- 聖隷福祉事業団:牧野光子 様/中志野 様  
当研修受講後、F-SOAIP 係を設け「F-SOAIP 便り」を毎月発行。  
「月刊ケアマネジメント」にて報告後、さらに 2 回の寄稿を準備中。

## 社会福祉法人生活クラブ風の村 副理事長

## 島田朋子様:2025 年度に計 6 名受講

副理事長らが 2019 年度(国際医療福祉大学)にて受講し、事故報告書や苦情対応、認知症ケアや外国人介護職の質向上等で効果を発揮し、法人計画にも位置づける。2023 年度より、当研修のゲスト講師として登壇。法人の計画に基づく F-SOAIP の拡大に向け、2025 年度は当研修に多機関多職種より 6 名が参加し、職場での浸透を図る。「介護人材」「カイゴの力」「Vision と戦略」等に寄稿。

<講師・ファシリテータ> 詳細は、本学の研究シーズをご確認ください。

烏末 憲子(社会福祉子ども学科) 小嶋 章吾(国際医療福祉大学大学院)

● 3 日目のゲストは、受講者の所属や職種等により決定します。

● 研修中の資料に、上記書籍の該当頁を付記することがございます。

F-SOAIP を開発し多領域での社会実装を図るべく、実践導入・研修・執筆や教育・研究をサポートします。



# 専門職連携で学ぶ事例検討

～複雑化・複合化した支援ニーズのある事例から考える  
本人中心の意思決定～



**<本講座の目的>** 複雑化・複合化した支援ニーズをもつ利用者の「生活の継続」を支えるために、本人中心の意思決定支援を土台とした専門職連携の実践を、事例を通して統合的に学びます。

ケアマネジメントのスキルをさらに高めたい方にお勧めの講座です。

対象は、保健・医療・福祉の専門職等で職種や勤務年数などは問いません。

## 開催日時・場所

9月13日(日)

9:30～16:30

受講料:3,000円

定員:20名

場所:埼玉県立大学

申込:埼玉県立大学

ホームページから8月28

日(金)までにWEB申込

## 講師の紹介

**野呂 牧人**(のろ まきと)

ケアビレッジ・シャローム副施設長  
埼玉県立大学 IPEアドバイザー

**江口 幸治**(えぐち こうじ)

埼玉大学学術院・民法学  
埼玉大学経済経営系大学院・  
経済学部、リカレント教育部門長

**高村 夏輝**(たかむら なつき)

埼玉県立大学共通教育科

**善生 まり子**(ぜんしょう まりこ)

埼玉県立大学看護学科

IPE: 専門職連携教育

## <プログラム>

1. 本日の進め方、事例紹介
2. 本人中心のケアを支える制度と意思決定の枠組み (講義)  
事例の構造化: アセスメント視点の共有 (グループワーク)
3. 本人中心の意思決定を支えるポイント (講義)  
倫理的葛藤: 読み解きと対応策の検討 (グループワーク)
4. チーム調整とケースマネジメントのポイント (講義)  
事例検討ワーク: チームでつくる意思決定プロセス (グループワーク)
5. 学びの統合とアクションプラン作成 (個人とチーム、全体での振り返り)

ALS: 筋萎縮性側索硬化症



**ALS事例**  
言葉にならない“思い”を、  
どう受け取るか。



医療・福祉現場の課題解決に向けた、  
新しい行動原理を学ぶ



専門職連携チームのアントレプレナーシップ概論

# 専門職連携を学ぶ講座

## \* こんな方におすすめ

- ・現場で上手くいかないと感じている方
- ・利用者・患者中心のケアを実現したい専門職の方
- ・新たな価値を創造・提供したいと思っている方
- ・社会課題にチームで取り組みたい方

## \* 本講座で得られること

- ・アントレプレナーシップの基礎理解
- ・課題発見から解決までの実践プロセス
- ・専門職種連携に必要なチームビルディング力
- ・現場で動けるアクションプランの策定
- ・実践事例からの学びと応用

## \* プログラム内容

- 午前：講義(理論編)
- ・アントレプレナーシップとは
  - ・専門職連携の理論と実践事例
- 午後：ワークショップ
- ・専門職チーム演習
  - ・アクションプランの策定
  - ・ミニ・ピッチ(プレゼン)

## 開催概要

日時：12月6日(日) 9:00~16:00  
会場：埼玉県立大学  
定員：30名  
受講料：3,000円  
申込締切：11月24日(火)

申込フォーム

